



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和5年9月28日
第6号



「当たり前」より「ありがとう」

校長 大野 幸二

残暑も徐々に和らぎ、さわやかな秋空が広がる今日この頃ですが、皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じ上げます。朝比奈小学校では、10月10日（火）より後期の授業がスタートします。12日（木）～13日（金）には4年生と5年生が「上郷宿泊体験学習」に出かけます。

先日、台風13号が関東に接近中の折、正門前で登校支援を行っている中、高学年の児童から「いつもありがとうございます。」というお礼を言われました。さらに、レインコートを羽織りながら遅れて登校してきた児童に傘を差し伸べると「ありがとう。ありがとう。」と繰り返しお礼を言われました。その日は気温も低く、朝からどしゃ降りの悪天候だったのですが、私の気持ちは、温かく、とても晴れやかになりました。

数年前、ある企業が日本語に関する調査を行った際、いちばん美しいと感じる言葉が「ありがとう」でした。「ありがとう」という言葉には、人を幸せにする力が宿っています。私は、以前、お世話になった先生からいただいたお礼の手紙を今でも座右の銘としています。

「ありがとう」

人は、「ありがとう」と思えた時間だけ、「ありがとう」と言えた分だけ、

「ありがとう」と言ってもらえた数だけ、幸せになれるもの

私も、それなりの年齢になりました。（※戦国時代の平均寿命は超えました・・・）周りに「ありがとう」って言える人がいること、直に「ありがとう」を言える機会があることの幸せをつくづく実感する今日この頃です。

近年の情報化社会は、我々に早くて便利な生活を提供してくれます。反面、身の周りにある出来事が、全て「当たり前」の様に感じられます。「できていることが当たり前」「そこにあることが当たり前」といった感覚にとらわれがちです。しかし、当たり前の出来事の陰には、必ず誰かの努力や工夫があるのです。それゆえ、朝比奈小の子ども達には、身のまわりの人や物、全てのことに感謝しながら毎日を過ごしてほしいと切に願います。

今後も、地域や保護者の皆様と共に、「ありがとう」の気持ちを育て参りたいと思います。変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。